

新しい瀬戸内海の自然・文化とのかかわり －環境首都“とくしま”からの発信－

1 趣旨

徳島の沿岸域は、過疎、人口減少、環境問題、さらに津波災害など厳しい状況に置かれているものの、それに負けない元気な活動が各地で展開されている。例えば、過去に南海地震で甚大な災害を被ってきた地域では、住民自らが被害軽減を目指した活動を行っており、環境面でも、住民協働・参加型の新しい里海の創出やごみ問題の解決に向けた取り組みがなされている。特に漁村の女性たちの生き活きとした姿には目を見張るものがある。

本フォーラムでは、このような恵みや災いといった様々な海の自然に対する新しい人々の関わりを、「災害」、「文化」、「環境創造」、「にぎわいの漁村再生」の4つの観点から話題提供を行う。また、ポスター発表の形式で、環境保全・創造に関する研究・活動報告を発表する機会も設ける。

2 開催日時・場所

平成22年8月26日(木)13:00～20:30

27日(金) 9:30～20:00

28日(土)10:30～12:30

徳島大学工学部・創成スタジオ(共通講義棟6F)

徳島市南常三島2丁目1番地 TEL:088-656-7304

3 主催等(予定)

主催:瀬戸内海研究会議

協賛:瀬戸内海環境保全知事・市長会議、(社)瀬戸内海環境保全協会

後援(予定):環境省、徳島県、徳島市、徳島大学、徳島文理大学、

(財)福武学術文化振興財団

4 タイムスケジュール

- | | | |
|-----|---------------|--------------------------------------------------|
| 1日目 | 13:00～13:25 | 開会 |
| | 13:30～15:30 | 第1セッション「瀬戸内海の津波と災害文化」 |
| | 15:30～15:45 | 休憩 |
| | 15:45～18:45 | 第2セッション「環境保全・創造に関する研究・活動報告」
(ハイブリッド形式のポスター発表) |
| | (18:00～18:45) | 瀬戸内海研究会議総会) |
| | 19:00～20:30 | 懇親会 |
| 2日目 | 9:30～11:30 | 第3セッション「浅場・海浜管理における生態系プロセスの
創出と機能性向上」 |
| | 11:30～12:30 | 休憩 |
| | 12:30～14:30 | 第4セッション「「ごみ」から語る瀬戸内ー文化・暮らし・循環ー」 |
| | 14:40～16:40 | 第5セッション「にぎわいの漁村づくりー女性活動から地域活動へー」 |
| | 16:40～17:00 | 総括・ポスター賞表彰式・閉会 |
| | 18:00～20:00 | オプション「市民交流会」(参加自由) |
| 3日目 | 10:30～12:30 | オプション「新町川と吉野川干潟の視察」(参加自由) |